

研究協力のお願について

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院倫理審査委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

心筋梗塞後中隔穿孔の手術成績

2. 研究の目的について

急性心筋梗塞の心室中隔穿孔は致死的な機械的合併症で、急性心筋梗塞発症後早期にかかわる死亡の約5%を占めると報告されています。心室中隔穿孔の外科治療は様残な術式が報告され、いずれの方法でも遺残短絡と術後収縮機能低下に対する対策が重要な問題となっています。

当科では経右室拡大サンドイッチ法による修復術を基本術式としています。

今回、当科での心筋梗塞後中隔穿孔の術式、手術成績を後方視的観察研究にて検討し、早期および遠隔期の治療成績の向上につなげることを目的としています。

3. 研究の方法について

2013年1月から2023年12月までに、心筋梗塞後中隔穿孔に対する修復術を行った症例を対象とします。その際の画像所見、術中所見、術後合併症の結果などを電子カルテのデータから情報収集します

4. 研究期間

研究承認日から 2025年11月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、術中所見、治療経過、カルテ番号

6. 外部への試料・情報の提供・公表

General Thoracic and Cardiovascular Surgeryに投稿予定です。また、中間報告として、第77回 日本胸部外科定期学術集会（2024年11月1日から2024年11月4日まで）に発表予定です。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。

